

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: support_apl@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-32R-067A/JA	Rev.	第1版
題名	32180,32182 グループ外部バスインタフェースにおいてリカバリサイクルと外部ウエイト機能を同時に使用する際の注意事項		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	32180 グループ 32182 グループ	対象ロット等	関連資料	-	

【内容】

外部拡張領域にワードサイズデータをライトする際、ワード上位 16 ビットのライトサイクル直後のリカバリサイクル中に WAIT#端子に “L” レベルを入力しないで下さい。本タイミングで WAIT#端子に “L” レベルが入力されると、ワード下位 16 ビットのライトサイクルに、ワード上位 16 ビットのデータが出力されます。

なお、リカバリサイクルと WAIT#端子による外部ウエイト機能をそれぞれ単独で使用する場合は問題ありません。

【発生条件】

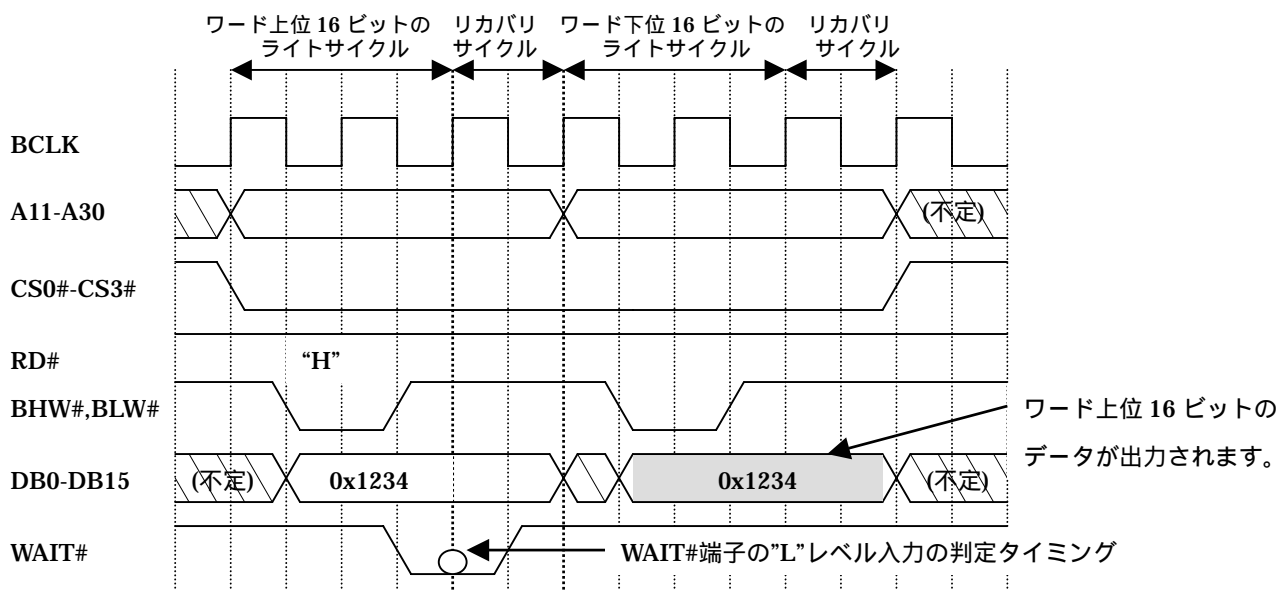
以下の条件を全て満たす場合に発生します。

- ・ CS 領域ウエイト制御レジスタ(CSxWTCR)の RECOV(リカバリサイクル追加)ビットに “1” (リカバリサイクルあり)を設定
- ・ 外部拡張領域にワードサイズデータをライト
- ・ ワード上位 16 ビットのライトサイクル直後のリカバリサイクル中に WAIT#端子に “L” レベル入力

【発生条件時の動作例】

発生条件で外部拡張領域にワードサイズデータ “0x12345678” をライトした場合の動作例を以下に示します。

この場合、ワード下位 16 ビットのライトサイクル時に本来 “0x5678” が出力されるどころ、ワード上位 16 ビットのデータ “0x1234” が出力されます。



注：WAIT#、CS0#、CS3#、RD#、BHW#と BLW#の“#”は、“L”アクティブ端子であることを示しています。